

放送大学 北海道同窓会会報

第29号

発行 放送大学北海道同窓会
発行責任者 宮崎 新吾
編集 広報担当
発行日 平成28(2016)年11月24日(木)
URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 221 名 (2016年9月30日現在)



「学 び は 感 謝」

放送大学北海道同窓会
会長 宮崎新吾

いつも放送大学北海道同窓会の活動にご理解
ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
同窓会を代表いたしまして、ひとことご挨拶

をさせていただきます。

過日、北海道学習センターで行われました卒業式に出席させていただきまして、自身が放送大学に入学したことで、結局20年間も在籍させてもらいながら卒業したことを思い出しました。そしてこのことは、自身の学びの中で放送大学に教えていただいたことがとても多かったとしみじみ感じておりました。

そこで一番感じたのが、学びは感謝であるということであります。入学している学生を支え励まされてこられたご家族をはじめ、職場の同僚や多くの関係者の皆様にも、お世話になりながら学ばせていただいております。また、学生の育成指導にご尽力いただきました放送大学の教職員や事務の皆さんのご協力があったからこそこの学びなのであります。

話は変わりますが、北海道学習センター所属の加藤栄さんが世界最高齢学位取得者であるとの声があがっており、私たちをいつも元気づけてくれる加藤さんに対する感謝のチャンスだと思い、これは同窓会としてもぜひともギネス申請をさせていただきたいと思っております。なにぶん未経験なもので、手探りの状況が続いておりますが、現在申請に向け奮闘中であります。そしてこれも、自身にとって新たな学びの機会となっております。

ご承知のとおり、皆さまが本日ご卒業されましたこの放送大学は、国内でも有数の一流大学であります。講義してくださる教授陣は東京大学をはじめ国内有名大学の先生方がご担当されており、また、単位認定試験も一切情実が入る余地のない厳格そのものの試験で、その難関を乗り越えてこられた皆さまは、間違いなく日本でも有数の頭脳を有する卒業生だといえるでしょう。皆様には、放送大学によって得ることのできたこの素晴らしい能力を、地域でフィードバックしていただきたいと考えております。このことは、放送大学を卒業した学生たちが誇りにしてもらいたいことであると同時に、ただ単に学位を取得したというだけでなく、地域、家庭、職場といった皆様の身近なフィールドで「やはり放送大学の卒業生は違う!」と言われるような人になっていただくことで完成するものであります。

す。そして、ここで学んだことを、それぞれのお立場で、お一人おひとりの生活の場に生かし、ぜひとも幸福な人になっていただきたいと思います。この小さな積み重ねが、放送大学の名をさら高めることにつながり、そのようなすばらしい大学を卒業したという事実が、卒業生の皆様方がお世話になった方々への感謝の証になるものと考えております

最後に皆様をお願いします。ぜひ同窓会にご参加ください。そして、在校生を含む同窓生を応援していきましょう。ここから、この素晴らしい母校である放送大学に、感謝の証をともにしめしてまいりましょう。

第 1 3 回放送大学研究発表会開催

9月3日（土）に同会実行委員会の主催で、北海道学習センター6F 大講義室において開催され、100名の聴衆を集めました。

1. 記念講演

演題：近代の終わるとき～人口百億人の世界～Ⅲ

講師：丹保 憲仁 氏

北海道立総合研究機構理事長

（元北海道大学総長・元放送大学長）

丹保先生には同テーマで3回にわたりご講演をいただきました。全体を通じての内容は人類の永い歴史を鳥瞰し、特にその中の人口の増加と資源消費の連関に焦点を当て、両者間の均衡が崩壊しつつあるとの警鐘を鳴らすものでした。

これまでの講演で強調されてきた点は、地球規模での大都市化の意味することを詳説しその結果として人口問題の危機的状況の到来は近いと予想し、早急に対策を講じなくてはならないとするものでした。今回はさらに、豊富町に生まれ樫に囲まれて育った幼年時代から現在までのご自身の足跡を時間軸に据えて、この間いかに加速度的に人口増加とエネルギーの消費が進行したのかを具体的に対照させました。

そして手元資料の最後で、具体的な対策として「地球の容量は大成長には耐えられそうにない」との前提を置いて「人口と消費をともに大削減しなければ破滅する」と結論付けこのためには「未来のための教育が変わらなくてはならない」と提言されています。



2. 研究発表

発表1 テーマ「泉鏡花の異界と柳田國男の『遠野物語』のつながり」

発表者 金田 優 氏

放送大学大学院 文化科学研究科

人文学プログラム修了

冒頭で近代文学から明治に移行した後の文学界の状況について概説し、その中における泉鏡花の立ち位置について触れました。次に異界の一般的概念として「日常とは違う世界を包括的に意味するもの」と定義。その例として時系列的に、出雲神話や四谷怪談、雨月物語、そしてゲゲゲの鬼太郎を卑近な例として提示しました。さらに異界を理解するために「異界とは地球上の特定の場ではなく心理上の場の概念である」との注釈も加えました。

主題である『遠野物語』については、河童、神隠し、魂の行方（靈魂）等々の物語 が包括されていると指摘し「近世以前の常民の異界感を反映している」点に注目しています。そして泉鏡花の描く異界の世界の源泉を、その生い立ちから作家になるまでの過程に求めて、とりわけ九歳で母を失ったことによる母恋慕の心情が作品に大きな影響を与えていると分析しています。

そして『遠野物語』と鏡花作品の共通点として「未知なる存在への畏れ」との結論を導き出しています。最後に「心を豊かに保つ上で不可知な存在を畏敬することは人間の幸福にとって不可欠」と締めくくりました。



泉鏡花の異界と 柳田國男の『遠野物語』の つながり

1

- 一 漱石から鏡花へ
研究の発端としての『草枕』
- 二 異界の定義
- 三 『遠野物語』をみる
体験した事実の重視
- 四 泉鏡花の異界考察
耽美・浪漫・表現主義・非時代性
- 「結論」
鏡花と柳田の異界の共通性および
今日的意義

- ・『吾輩は猫である』
猫に託した文明・社会批評、ブルジョア層への反発、落語の語り
- ・『坊ちゃん』
社会的不正義への実らない反抗
→この二作品は精神不安の漱石
には心理的自己開示となった。
- ・『草枕』
世俗の愛いを棄て去り新たな
出発を目指す桃源郷への憧れ、
小説というより散文詩。漱石の
文学者としての地歩を確立。
当時自然主義文学からの圧迫に
窮していた鏡花に自信を与えた。

3

研究発表

泉鏡花の異界と 柳田國男の『遠野物語』の つながり

放送大学大学院
人文学プログラム
修士課程修了生
金田 優

平成二八年(2016)九月三日
第一三回放送大学研究発表会

一、漱石から鏡花へ →癒しの文学『草枕』→

2

- 精神的危機にあった漱石
 - ①不幸な幼年時代、要らない子
 - ②帝大卒業時の言「馬鹿が出来上がった」英文学への自信喪失、神経症(西欧文化との違和)
 - ③五高時代、結婚と家庭問題
 - ④望んだ成果を得られなかった
英国留学・失意の帰国
 - ⑤一高講師時代の教え子藤村操の自殺(巖頭之感・明三六)に
対し自責の念
- 転機となった虚子の勧めによ
る小説(初期三部作)の発表

なぜ泉鏡花に興味を惹かれたのか

5

『草枕』における文明批判の中に維新によって失われようとしていた文化への危機意識をみる。

そのことが漱石に、抬頭してきた日本流自然主義派と距離を置かせ特異的作品を著させた。

『自然主義』という観点から、この時代の明治文学を鑑観したとき異端ともいえる鏡花に関心。

硯友社に属した鏡花は江戸の文芸の土壌を超えて幻想性の強い個性的な作品を編み出した。

漱石の怪奇文学に対する態度

7

○『倫敦塔』『幻影の盾』などの怪奇的著作あり

ロンドンの塔——五、一七世紀政治犯を収容・処刑——は英国留学中に実際に訪問している。

↓訪問の際に漱石自身幻視体験をしたのではないかな？

隅外が鏡花の作品を非近代的としてあまり評価していないのと比較して漱石は新聞評で好意的に書いている。鏡花の世界を理解していたと思われる。↓超自然

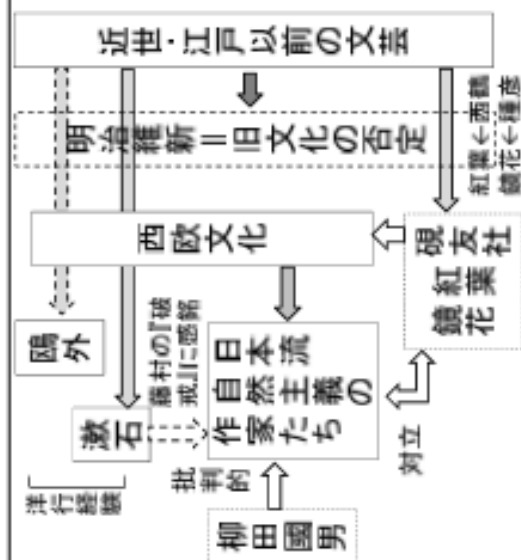
『草枕』の読みどころ

4

- ・ 山路を行く
七五調の独白と旅への誘い
- ・ 那古井のお嬢さん—那美—の
魅力と長良の乙女
↓ 閑達な明治の新しい女
- ・ 風呂場でのシーン
シニール・夢幻の美
- ・ 桃源郷からの覚醒と別れ
欠けていたのは隣れ、人は再び
憂き世に舞い戻る。しかしそこには
救いが感じられる。
↓ 『草枕』は声に読まれることで真
価がわかる。
↓ 異界としての桃源郷を出てそれ
ぞれの世界へ。↓ 鍵は「水」

近世文学から明治へ

6



異界の民俗学的考察 「地域社会の変化」

9

○近世以前

ムラ社会であり共通の氏神(自然)信仰を中心に神と人が近接。異常な体験を説明する役割を昔話・伝説が担う。(出雲神話等)

○江戸時代

都市の発展により異種のコミュニティが会合。未知のできごと、空間が頻出し怪異譚が流布。これらを説明するための新たな物語が求められる。(都市伝説)

→江戸時代の幽霊譚の流行

→『四谷怪談』『皿屋敷』等

→『雨月物語』等の初期読本

異界の住人たち

11

○歴史的に古い魔

*妖怪

続日本紀に初出。怪奇現象を意味する。

*もののけ

枕草子の「すさまじきもの」に使われている。物→妖怪

*伊邪那美の尊の霊

古事記の伊邪那岐尊の黄泉の国訪問。異界と境を設ける

→柳田國男は妖怪は祀られなかった魔あるいは墮落した神であるとした。(異論あり)

二、異界の定義

8

「一般的な概念」

日常とは違う異世界を包括的な意味で異界という。

○異界の要素から区分

- ①認識を超えた世界。霊界、仙界、天界、魔界、桃源郷など
- ②死者の世界。他界、冥界、黄泉、冥途、幽界など

○コミュニティの観点に立つと自分たちが属する外の世界が異界。異界の成立条件として内・外を区分する境界の存在が必要。

○異界と現代

10

物質文化、科学的知見は拡大している。都市の膨張により住民としてのコミュニティ・シヨンは希薄化。

→コミュニティの単位が矮小化することで境界は増加し、異界は広がっている。

→身近な例として

口裂け女、トイシの花子さんなどの現代怪談。妖怪もの(ゲゲゲの鬼太郎など)の流行。都市伝説の流行は異界の広がりを反映している。

異界を理解するために

13

○異界とは地理上の特定の場ではなく心理上の場の概念である。

↳ 畏れ、驚嘆するほどの美的景観などの心理的衝動が異界への扉を開ける。↳ 不意の発現

↳ 死・恐怖・不安などの外的圧力を和らげるために異界を避難場所にする。

↳ 肉親の死を消滅ではなく、霊は異界に転生するといった代償化する心理。

↳ 人は合理性だけでは心の安定を得ることはできない。異界の存在は精神の健全性を保つのに必要。

代表的な話とモチーフ

15

・マヨイガ

↳ 柳貸穴伝説

・オシロイサマ

↳ 異類婚姻譚・養蚕のはじまり

・さしきわらし

↳ 家の盛衰

・河童

・神隠し

・魂のゆくえ(霊魂)

↳ 江戸の幽霊話とは異なる

・猿の経立・お犬

◎近世以前の庶民の異界観を反映している点(因果律ではない)に注目

○御霊信仰と関連するもの

* 崇徳上皇の怨霊(→大天狗)

保元の乱(12C)で流刑・憤死

* 菅原道真の怨霊(→雷神)

昌泰の変(10C)で大宰府に流刑

↳ これらの霊は責める魔として恐れられた。神として祀る、あるいは官位を授与することで慰撫に努めた。

* 平将門の怨霊↳首塚(反権力)

○霊的存在への意識

人が霊の存在を意識するのは古代のアニミズム(精霊崇拜)に源流がある。

『E・Bタイラー(英・人類学)』

↳ 人は深層心理に不可知の存在である霊に対する畏怖の念を持っている。

三、『遠野物語』をみる

14

○成立の事情

・成立は明治四三年、遠野郷の青年佐々木幸麿の口述をもとに柳田國男が著し自費出版した。

・成立背景には日露戦争後の高揚するナショナリズムと怪奇趣味の流行がある。(東雅夫氏『怪談ルネッサンス』井上田了の研究、怪談会発行)

・自然主義文学→欧化への懐疑

○特徴

・語り部→口承文芸上の感動を生かそうという簡潔な文章が、読み手の想像力を掻き立てる。

・柳田は話者の想像を加えた話でも感動を伴っているならば体験的事実であるとした。

四 泉鏡花の異界考察

17

- 生い立ちと作家になるまで
- ・明治六年金沢で出生、本名は鏡太郎。父は鑄職人の清次、母は能楽師の娘すず。(貧家)
- ・九歳で母を失う。→亡母追慕として作品に大きな影響。
- ・専門学校(後の四高)を受験するが失敗(英語はできた)
- ・明治二四年尾崎紅葉に入門を許される。→硯友社
- ・明治二五年処女作『冠弥左衛門』を『日出新聞』に発表
- ・『夜行巡查』『外科室』などの観念小説を発表し地歩を確立

『遠野物語』の異界とは

16

- ある境界を隔てて存在していた二項世界が偶然のきっかけで会合することによって生じる。
- 山と里、彼岸と此岸、生者と死者など
- 宗教(仏教)的なモチーフや娯楽的恐怖とは異なり、精霊崇拝が感じられる。
- 不可知な存在に対する畏れが根源としてある。
- 柳田が常民と呼んだ庶民の豊かな想像力が源泉。

能の豆知識

19

- 神事から発達し芸能へ(世阿弥)
- ワキとシテの役割が分化
- ワキは聞き役・観客にシテの存在を示唆、シテは多く異界の人(亡霊)
- 夢幻能とは
- 無意識下のワキの夢にシテが登場
- 終結のない芸能
- 具体的ではなく象徴としての芸
- 異界との出会いを目的とする
- 二つの時間が進行(現世とあの世)
- 人生の苦悩をリセット
- 型の元姿を目指す芸(調→動作→感情)
- ※安田登『異界を旅する能』より

鏡花作品のススメ

18

- 『義経血』→義か愛か
- 『外科室』→不条理な愛・姦通
- 『化鳥』→幻想の中での独白
- 『高野聖』→妖艶、転生
- 『春屋』→幻想、情死
- 『草迷宮』→亡母追慕と魔界
- 『歌行燈』→時に最高傑作の評
- 『天守物語』→王朝美の魔界
- 『緋紅新草』→絶筆、美と回帰(鏡花の美の結実点)
- ◎鏡花を読むには想像力を働かせ、完結を期待せず、その先があると認める必要がある。
- 難解な構造→能との共通性

鏡花の異界とは

- 現実界と異界の境界が消失して出現。
- 不可知な存在を畏敬を持って認める(観音信仰)鏡花の想像力から生み出された心象世界。
↳「魔」の存在を肯定
- 過去と未来といった連続的ではない時間感覚
- 霊的存在も江戸期の幽霊(因果応報・読本・草双紙)ではなく精霊に近い。啓示宗教の影響以前の古層に通ずる。

21

○鏡花の耽美・幻想

- ・想像力の産物である
↳近世の空気を漂わせながらも時代を超えてしまう
 - ・表現が肥大化する
↳女性美、被虐趣味に濃厚に色付けをする(表現主義)
 - ・論理性に欠け象徴的
↳人物像は屡々類型的で論理的展開を無視し難解
 - ・語理的ともいえる詩的文章
(小林秀雄「音を省いた詩」)
- ◎鏡花は自己の想像の世界を無限に拡張することで色彩的で難解、時制や論理から逸脱した幻想世界を生み出している。

20

結論

- 遠野と鏡花の異界の共通性
 - ・異界は一方が未知である二項世界(聖・俗、山・里など)の干渉を意識することで発現する。
- 未知なる存在
異界 — 在への畏れ
- ・豊かな想像力が基になっている。(常民・鏡花)
 - ・不可知な存在の認識・畏敬
 - ・近世以前の異界認識(桃源郷・魔界)↳精霊崇拜に通ずるものがある。

22

○今日的意義

古代の人々は異界を受容することとで霊的(心)世界と共存。

科学の発展は異界を迷妄であると退けた。(特に明治維新以後)

宇宙の起源について解明するなど科学的知見の進展によっても心の問題は未解明。

異界の存否を論ずるのではなく、心を豊かに保つ上で不可知な存在を畏敬することは人間の幸福にとって不可欠。

◎異界を扱う文学＝幻想文学として認知されるようになった。

23



発表2 テーマ「北海道の温泉微生物種と源泉泉質との関係の解析」



発表者 笠原 郁子氏

放送大学大学院 文化科学研究科

自然環境科学プログラム修了

発表者が発表概要で研究を始めた動機として、温泉の泉質や効能についての研究は多いと前置きして「温泉に生息している微生物についての研究はほとんどわずかしかないうちに気付いた。特に北海道の温泉に

ついては全く見あたらない」と述べています。発表では先例のない独創的な研究に取り組んだ姿勢に、研究意欲の旺盛が十分に伝わってきました。

まずどの微生物種を探索するかを決め、調査方法を決定し、培養にたよらない菌体から直接抽出した DNA を使う手法を選択し、変性剤濃度勾配ゲル電気泳動法という分析法を用いて微生物を特定するという手順を踏んで、研究を進めている。なお調査した温泉は36カ所、39温泉に及んでいます。

コメンテーターを務めた北海道学習センター前所長の富田房男先生は『北海道の温泉に微生物はいるのか』という問いから出発し、わからない世界に手を付けたことは素晴らしい。この研究に刺激されて、あまり知られていないこうした世界の研究に沢山の人が行って欲しい」との希望を述べられました。

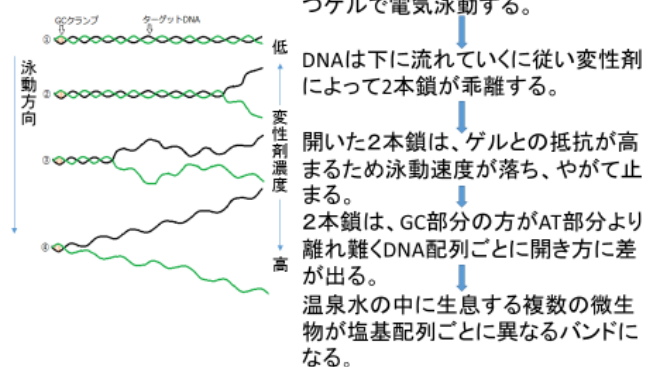
- 16SrDNAは16SrRNAをコードしているDNAである。
- 16SrRNAはリボソームで蛋白質の合成という生物の本質にかかわる機能を持つ。全ての生物種に存在し、配列の共通性がある。
- 一方で、近縁種間の比較に使えるような比較的変異しやすい部分も存在する。
- 温泉微生物群集のDNAから16SrDNAのV3領域、約180塩基対をPCRで増幅し、DGGEで解析することで、生物種ごとに異なったバンドとして検出し、温泉微生物種を特定する。



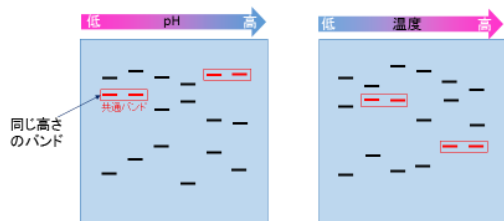
- 液性(pH)
- 源泉温度
- 浸透圧
- 湧出時の温泉水に含まれる成分

などの分類があるが、本研究では主に液性(pH)、温度などに着目して実験を進めた。

2本鎖DNAを変性剤の濃度勾配をもつゲルで電気泳動する。

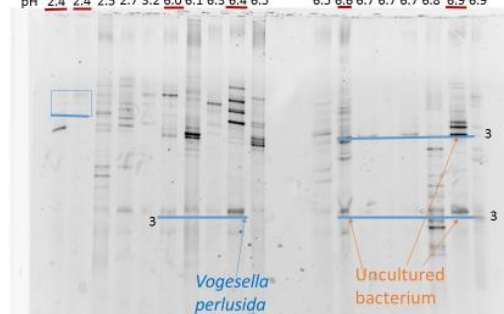


57サンプルを、泉質によって並べ替えてDGGE解析

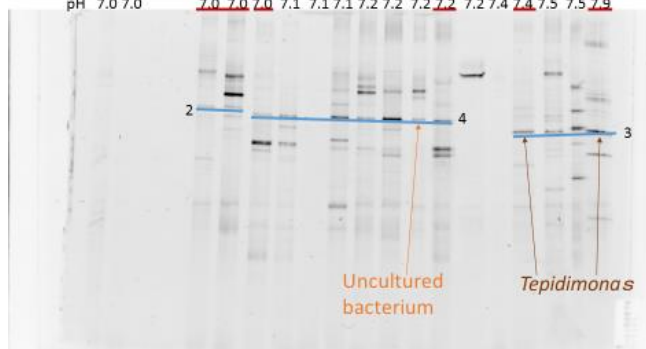


泉質によって並べ替えたゲル上での隣り合った共通バンド
→泉質に関連する菌種

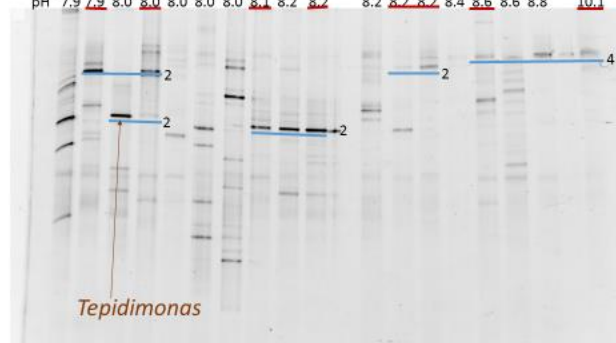
温泉名	五色		十勝岳 白濁		吹上		十勝岳 赤濁		五味 赤濁		昆布		十勝岳 赤濁		見市	金湖	金沢	菅	山溪	山溪	
	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月									
pH	2.4	2.4	2.5	2.7	3.2	3.0	6.1	6.3	6.4	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	6.7	6.7	6.7	6.8	6.9	6.9



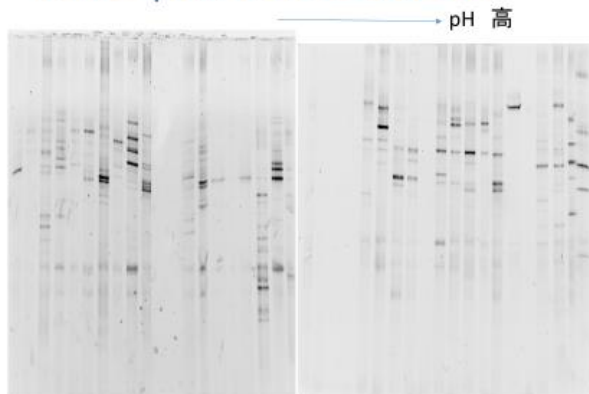
温泉名	定山溪	丸駒	妹背牛	壽都	鶴亀	あいの里	北村P	北村	新篠津	鶴亀外	五味※	長沼内	桜野	岩内	古平	ンヌプリ
pH	7.0	7.0	7.0	7.0	7.1	7.1	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.4	7.4	7.5	7.5	7.9



	アンヌ 沼	赤井 沼	毛 沼	南 沼	トムラウシ 外	内 沼	昆布 川	虎杖 外	浜 内	赤井 沼	長 方 部	当 別	ワイ ス	ポロ ト	石 狩	オ ソ ウ シ
pH	7.9	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	8.1	8.2	8.2	8.2	8.2	8.4	8.6	8.6	8.8	10.1



DGGE pH順1, 2をつなげたもの

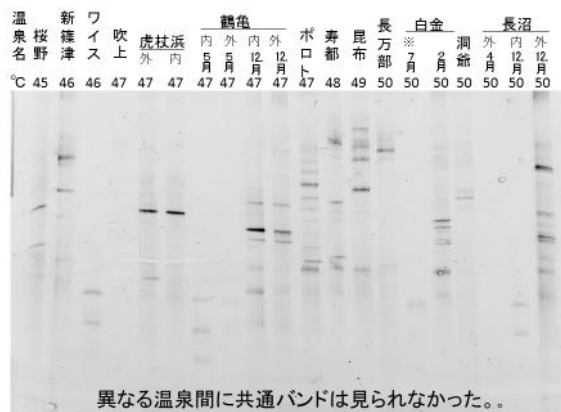


2つのゲルにまたがる共通バンドは見当たらなかった。。

DGGE解析 pH順 のまとめ

- 3か所以上の温泉にわたってはっきりとした共通バンドが多く見られ、中には上下2段に共通バンドが見られるものもあった。
- 共通微生物種もいくつか解析され、共通バンドの微生物種が近縁種であることが示唆されている。
- pHが微生物種に影響を与えていると思われる。

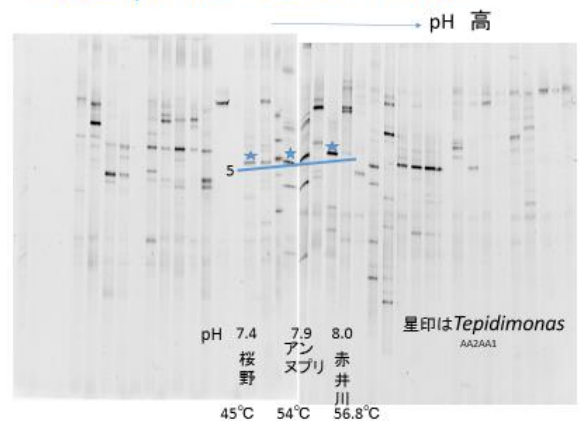
DGGE解析 温度順 No.2 (45°C-50°C)



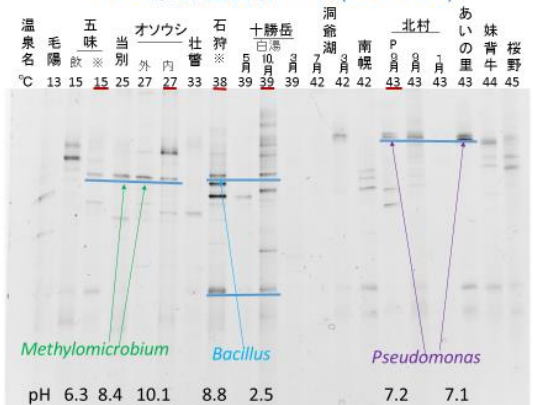
DGGE解析 温度順のまとめ

- いくつかの共通バンドが見られたが、温度と共にpHも近いものも多く、pH順よりも少なかった。
- 源泉温度の低い所(13°C~39°C)に見られた2本のバンドは、それぞれpHが極端に異なり温度に強く依存している微生物種である可能性が高い。
- 温度が微生物種に与える影響はpHよりは小さいと考えられる。

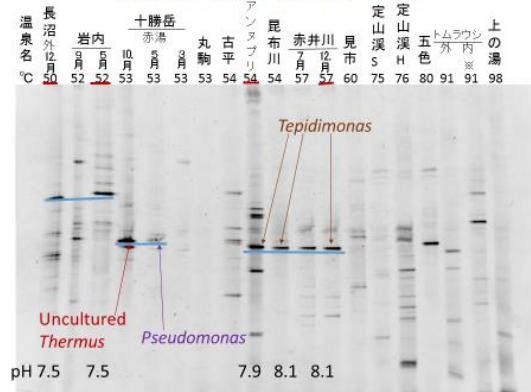
DGGE pH順2, 3をつなげたもの



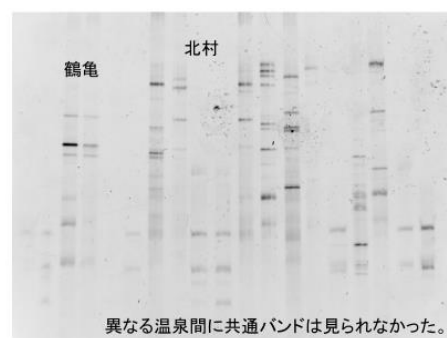
DGGE解析 温度順 No.1 (13°C-45°C)

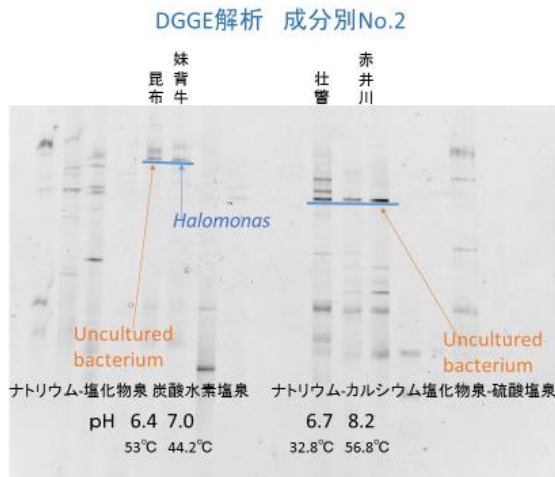


DGGE解析 温度順 No.3 (50°C-98°C)



DGGE解析 成分別 No.1 ナトリウム塩化物泉





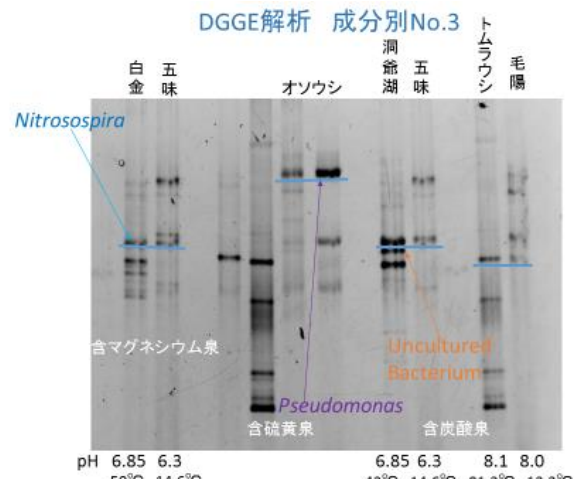
DGGE解析成分別のまとめ

- 成分が共通する温泉は少なかったが、その中でも共通するバンドは見られた。
- 共通バンドの塩基配列を解析したが、共通微生物種は検出できなかった。

結論(続き)

- Tepidimonas*は海外で数種が温泉から単離されており、50°C程度が至適の高温菌で、温泉との関連が考えられる。温度順に並べた際の共通バンドから出たこともあり温度が生育の限定要因になっていると考えられる。
- Tepidimonas arfidensis*は韓国で白血病患者の骨髓液から単離されていたが、今回初めて4つの温泉(白金温泉※、アンヌプリ温泉、赤井川温泉、昆布川温泉)から出た。

以上の結果より、源泉泉質(pH、温度)と温泉微生物種の間にはある程度関係性があると考えられる。



結論

- PCR-DGGE解析により調査した全ての温泉中には微生物が生息しており、多様な微生物が存在することが明らかとなった。
- 源泉泉質のうちpHが温泉微生物種に与える影響が最も大きいように思われる。3つ以上の温泉に共通バンドが良く見られ、共通微生物種も出ている。
- 塩基配列解析できた共通微生物種では*Pseudomonas*が6サンプル、*Tepidimonas*が7サンプルあった。
- Pseudomonas aeruginosa*は緑膿菌で、地理的に近い2つの温泉(石狩温泉※、あいの里温泉)から出た。1つは循環式の温泉で、入浴との関係が深いと予想される。

< 参考 >

シーケンス(塩基配列)解読と相同性検索

- DGGEのゲルからDNAがある部分(バンド)を切り出し、PCRと精製を繰り返しDNAを取り出す。
- シーケンサーによりDNAの塩基配列を読みだす。(例、TGGGTCACGCTTGCGCCCCCTGCCCAA)
- インターネット上に公開されている検索サイトで、読みだした配列を持つ微生物種を特定する。

次回開催予告

第14・15回放送大学研究発表会

第14回：平成29（2017）年 4月 1日 土曜日午後1時から

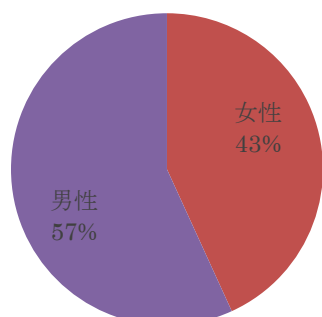
第15回：平成29（2017）年 9月 9日 土曜日午後1時から

研究発表会実行委員会では研究発表者を募集しています。

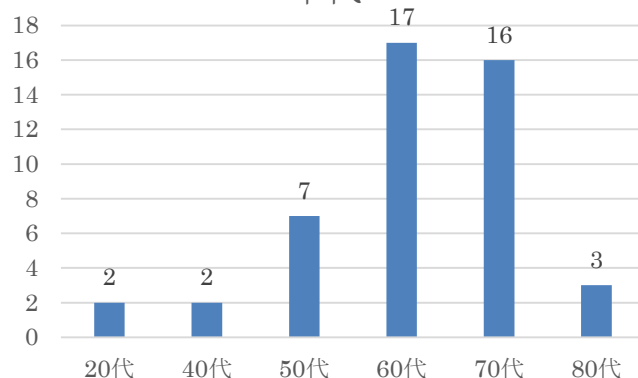
たくさんの応募お待ちしております。

平成 28(2016 年) 第 13 回研究発表会アンケート集計 (有効回答数・47)

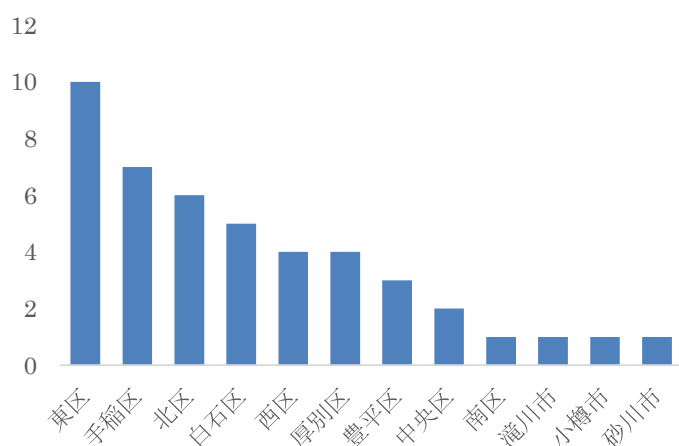
性別



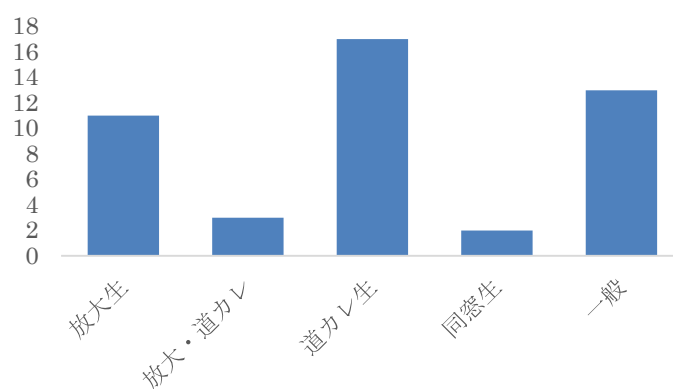
年代



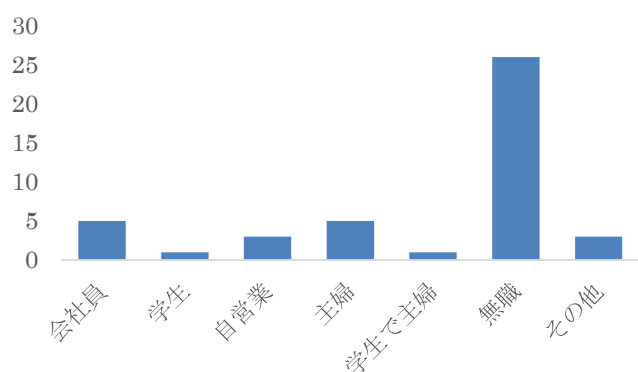
居住地



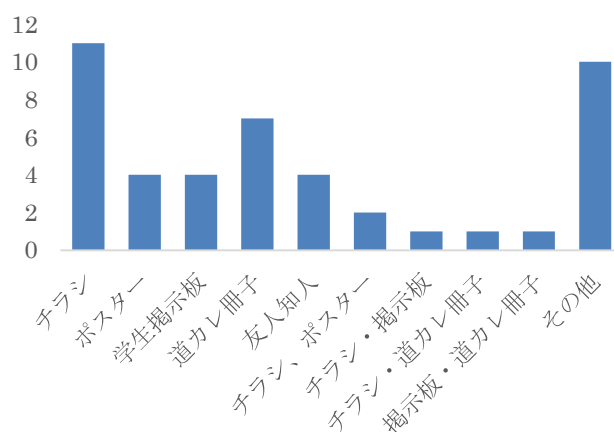
所属

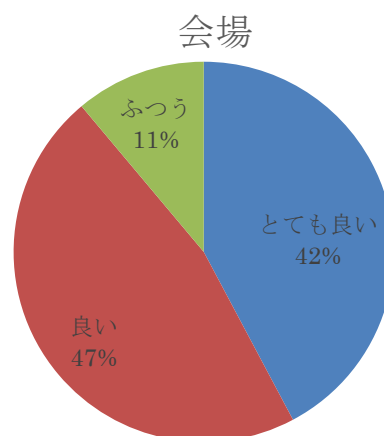
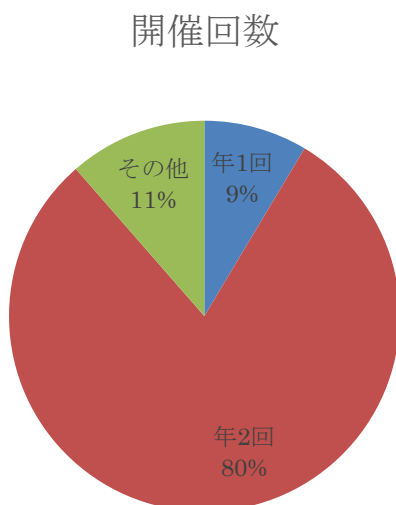
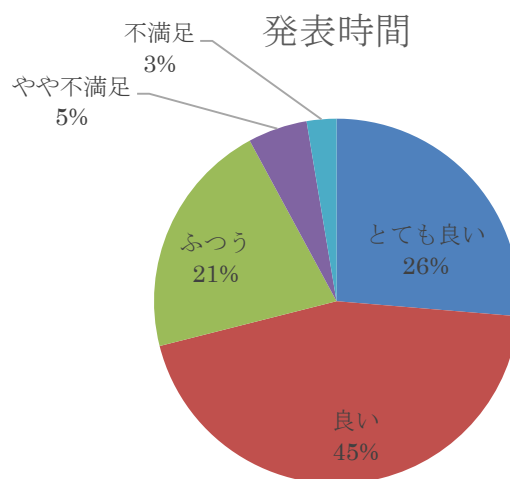
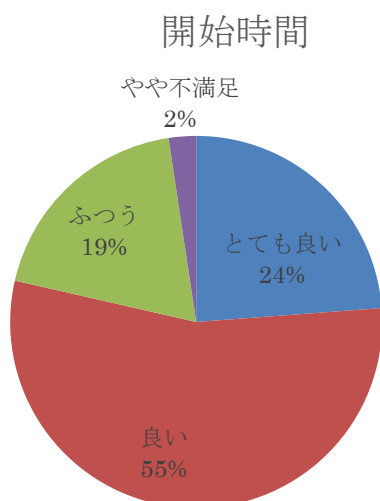
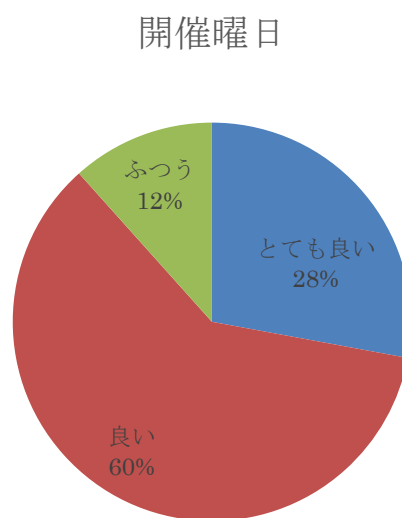
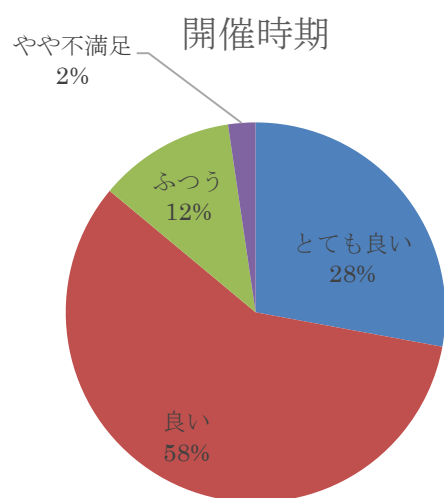


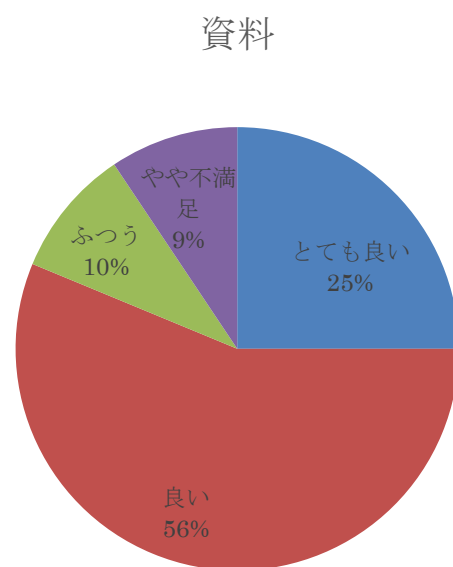
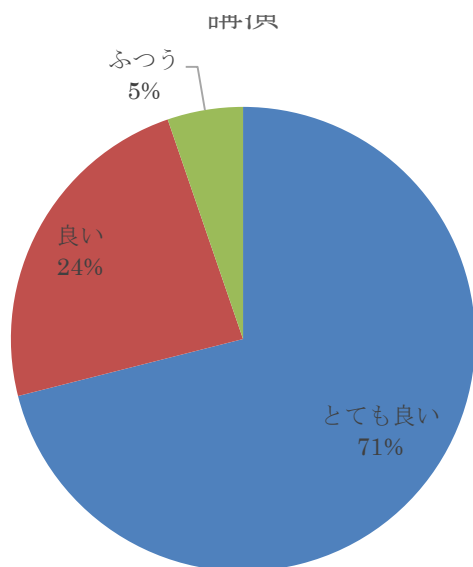
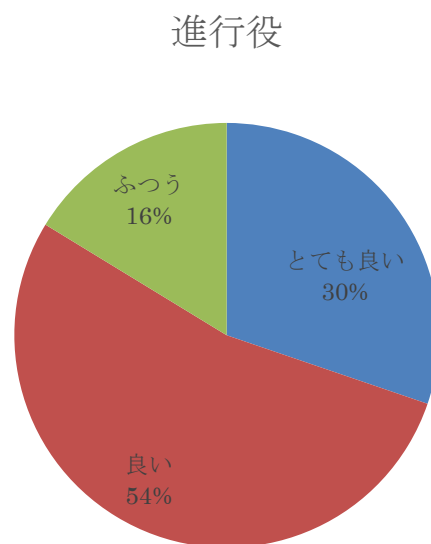
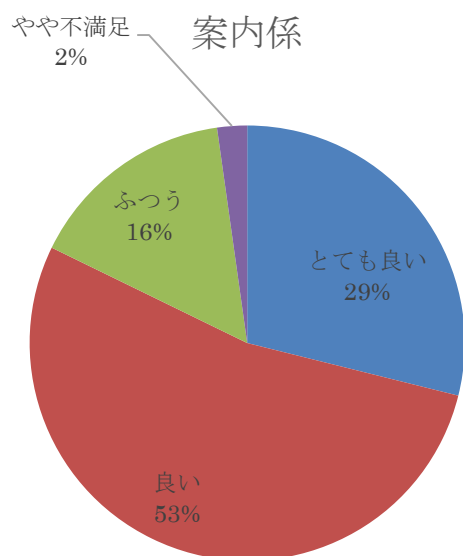
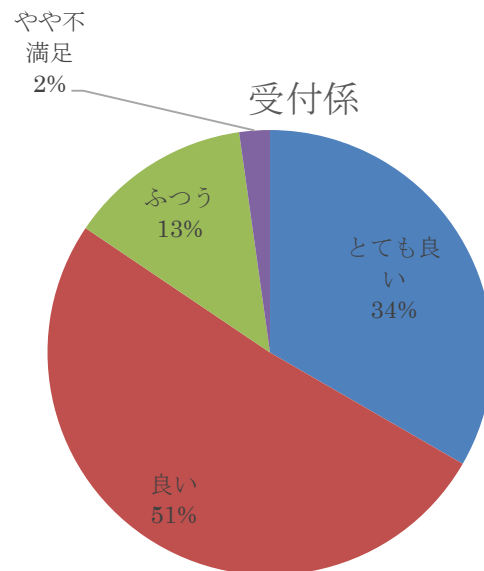
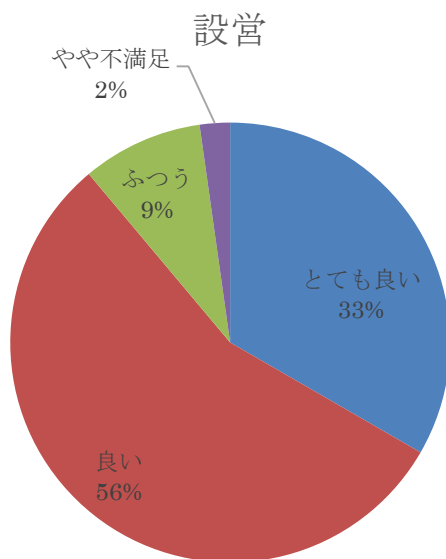
職業



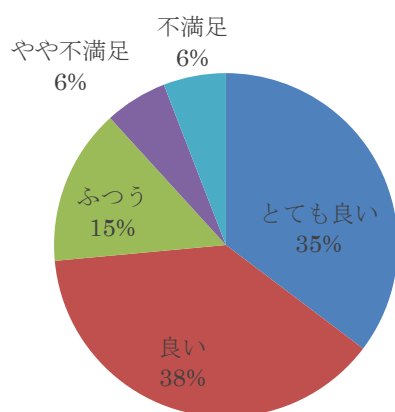
情報



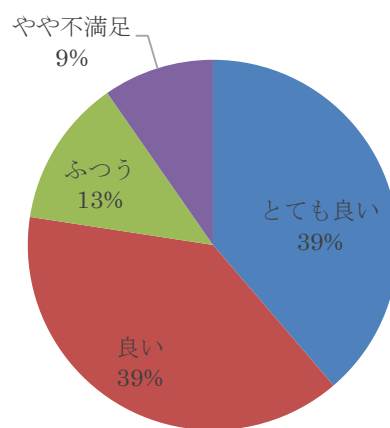




発表1



発表2



第2回インターナショナルゴミ拾いビーチウォークに参加しました。

(9月11日)



北海道同窓会の社会貢献の一環として海岸清掃活動で今年度5度目のボランティア。天気晴朗で石狩の海は風と清掃活動にはうってつけの天候でした。

主催のNPO法人の協力団体として、北海学園大学、札幌学院大学と共に11名の北大の中国人留学生やロシア領事館の首席領事

をはじめとする領事館職員6名が昨年度の第1回から積極的に参加しています。留学生の一人が「中国でも環境問題が大きくなっている。自分も帰国したらこのような活動をしたい」と言っていました。ロシア領事館の方は「前回も参加しました。楽しく清掃ができました。この様に意義のある事はまた参加したいです。」と言って「来年もよろしく」とおっしゃっていました。ゴミを拾いながら国際交流をしたいという目的がそれぞれの立場で叶えられたと同時に、綺麗になった海岸で環境保全をした達成感を味わっていました。

清掃終了後は石狩浜海浜植物保護センターで石狩海岸の植生を勉強し、隣の番屋の湯で一風呂浴び、心地よい潮風に吹かれながら帰路につきました。

(岩崎)

9月25日 平成28(2016)年前期の学位記授与式がありました。

放送大学北海道学習センター(出席者 31 名)で執り行われました。苦難を乗り越えてはれて卒業証書を手にした方、本当におめでとうございます。今学期の北海道学習センターから 85 名の学士と旭川サテライトスペース 2 名の学士が誕生しました。

また、同窓会名誉会員の加藤栄さん(100 歳)が 3 回目の卒業をしました。いつも私たちは加藤さんから勇気を頂いています。



卒 業 を 祝 う 会 の 様 子

学生サークルうたの会から歌のプレゼント



卒業を祝う会 9月25日(日) 学位授与式の後、同窓会主催による「卒業を祝う会」が、15時30分から行われました。各テーブルには、紅白の饅頭と、お赤飯でお祝いして、オープニングは、「うたの会」サークルの「放送大学歌」、「道・放大生賛歌」「喜びの歌」で始まり、主催者の宮崎同窓会長が挨拶、筑和北海道学習センター所長・伊藤事務長の来賓挨拶があり、

卒業生代表から北海道学習センターに図書寄贈目録が筑和所長に贈呈されました。

卒業生代表土谷志保子さんから筑和センター所長へ記念品贈呈





ご卒業された皆様から自己紹介の様子

小野正さん

会社を退職後、子供に紹介されて放送大学へ入り、4年で卒業しようと思ったのですが、面接授業20単位が必修だと知らなくて、卒業が半期伸びました。今後半年は科目履修生として学び、来週日曜日には大学院を受験します。私は2人子供がいますがこれで子供たちと同列になれたと思います。私は昔、教育大学を受験し合格したのですが、家が農家で私は長男でお金がないからと断念しました。これからも大学院を目指して頑張りたいと思います。



土谷 志保子さん

私は、准看護師の資格を取り家族を助けながら、高校も通信制の高校を卒業して、通信制の高等看護学校を放送大学科目履修生で単位を取りながら卒業して看護師の国家試験を取りました。その後全科履修生になり今回は、放送大学での3回目の卒業となります。北大構内は、どの季節も美しいキャンパスなのですが、冬は長距離(函館方面から札幌)の冬道運転で、本当に命がけになってしまうので、夏の面接授業だけ受講するようにしました。どの面接授業もとても素晴らしかったのが強く印象に残っています。



中野 靖幸さん

私は、1940年生まれで、学校を卒業後、進学せずに社会に出ました。就職した先は、当時とても華やかな職場で、東大を卒業した社員もたくさんいる職場でした。私は、その中で経理マンとして69歳まで勤め上げました。その後、公認会計士を目指したことがあり、大卒の資格が必要だったので、放送大学に入り6年半で卒業しました。卒業後は、英会話を学びオリンピックでの通訳ボランティアを行い、パソコンも学びたいと思っています。



鈴木克昌さん

66歳で2度目の職場を退職し進路を考えていた時に、以前から興味があった放送大学の入学を決めました。私は、飽きっぽくて挫折しやすい性格で、当初は1科目ないしは2科目程度だけを履修していました。しかしこれでは卒業より先に自分のほうが逝ってしまうような気にするようになりまして、科目数を増やして6年半で卒業に漕ぎ付きました。

体のためにマラソンをずっと続けていましたが、もうフルマラソンは卒業と思っていた矢先に、12.5倍の東京マラソンの抽選に当たりました。心新たにこれに挑戦したいと思っています。



司会者に「センター所長も」と マイクを向けられ自己紹介

「今までこんな話したことなかったなあ」と、学生時代を振り返り、大学紛争で東大を受験を断念したことなどを交えながら懐かしそうにお話してくださいました。

「初恋はいつ？」の質問に素早く「幼稚園」とお答えになり気さくなお人柄。話が尽きなく、思い出に残る楽しいひと時を作ってくださいました。

「生誕 100 年に際して放送大学卒業」

北海道同窓会名誉会員

加藤 栄



82 歳で仕事から離れ、毎日あり余る時間を埋める方便として、至極軽い気持ちで放送大学に科目履修生として仲間入りさせてもらってから 18 年あまり、「生誕 100 年の記念すべき年に、放送大学を 3 度目の卒業をすることが出来た」と言うことは、入学当初には考えも 及ばなかった事であり、快挙というべきである。

我が住み家は、藻岩山の東傾面、海拔 140m にあり、日常は手稲の嶺は見る事が出来ない。学習センターに通学の際、地下鉄北 18 条駅を出て西に進む時、テレビ塔が立ち並ぶ手稲の頂を仰ぎながら、北大寮歌の一節を口ずさみながら 20 年近く通った、思い出の通学路である。

平成 26 年の秋、北海道放送大学同窓会設立 10 周年の懇親会で、来生副学長にお会いした折、丹保前学長との関わりなどと共に、100 歳での卒業の夢を口にしたことがキッカケとなり、昨年 4 月、2 回目の卒業式（東京 NHK ホール）に出席したとき、学長式辞の中で「今年度の最高齢卒業生は、北海道学習センター所属の 97 歳で、更に再入学して 100 歳の再卒業を目指している」と述べられているが、このことが空手形とならずに済んだことで安堵している。

学習センターの平成 28 年度 1 学期卒業の会場では放送大学「大学の窓」取材チームの清君から取材を受け、ガウンを着用することになり、学習センター長から過分のおほめの言葉をいただき、更に同窓会メンバーが、ギネスブックへの登録を働きかけて下さり、非公式ながら可能性があるなどのお話を聞いた。この調子で 3 月には、また東京での卒業式に出席したいものだと思っている。

こうして今、頭の中にあれ、これと浮かぶことは、小学校時代の先生のこと、社会に出てからは、仕事上で指導してくれた多くの先輩や職場の同僚たち、さらにその周囲であれこれと励まして下さった数多くの人々、大学に首を突っ込んでからも多くの先生方や学友のご恩に思いを至し、深く感謝する次第である。

今回も再入学したが、これからも健康であればと期待して、学び続けたいものと願っている。



第8回文化祭開催しました

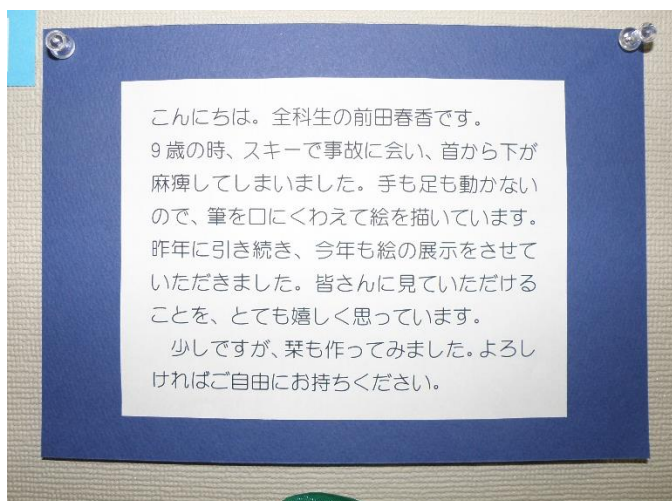
平成28(2016)年10月4日(火)から10月9日(日)まで放送大学北海道学習センター5・6階で第8回文化祭を開催しました。

今回も、同窓会・学友会・学習センターで実行委員会を立ち上げ、実行委員長に高桑昌子さん(学友会副会長)が選ばれ、委員長を中心に数回の委員会を開催。学生や学校関係者も加わり準備をした成果が見られました。

展示部門

10月4日(火)から10月9日(日)まで6階で開催

絵画・写真・ゴールドワーク・ブローチ・クッション・パソコン学び隊活動の様子・地球守り隊の環境問題を提起するパネル等が展示され、皆さんの目を楽しませてくれました。また、車いすの学生が口で描いた絵を展示し、注目を集めていました。更に去年に続き同窓会の活動写真を紹介しました。



バザー

10月8日土曜日 会場～5階 ロビーで開催

皆さん!! 文化祭バザーに沢山の品物をご寄附下さりありがとうございました。お陰様で収益金が33,541円となり、昨年まで同窓会で負担していた運営費用は今回からバザー収益金から支払うこととなり、3,916円を支払い残金29,625円は銀行預金としました。合計金額は108,175円となりました。多数の皆さんのご協力がありました。大学事務の方も協力品を提供して下さい、受付当日、協力品を持ってきてくれた方や、茶道をやっている学生に高額商品を寄付頂たなどでバザーの収益金はこの金額になりました。今年も電話などでおねだりし、皆さんを当惑させながらのバザーでしたが、文化祭の一翼を担えたのではと思います。

来年のためには皆さんに日頃から心がけて頂いて、文化祭用紙袋を目の付く所に置いて少しでも集めておいて欲しいと思います。バザーの収益金は学生支援や母校のためにみんなで考えて使わせて頂く事になっています。これからも文化祭を、その中でバザーも応援して下さい。そして文化祭を楽しみ学友同士の絆を深めようではありませんか。



講演会・学芸会

放送大学北海道学習センター長 築和正格氏講演の後、北大落研の落語、サークル発表、学芸会発表と続き幕をとじました。



第4回放送大学東北・北海道ブロック交流会

同窓会交流会報告書

北海道同窓会 会長 宮崎新吾

実施日時 平成28年10月15日（土） 10月16日（日）

実施場所 秋田学習センター 大講義室 （10月15日 第1部・第2部）

ルポールみずほ （10月15日 懇親会）・（10月16日 情報交換会）

出席者

- ① 同窓会連合会 会長 津野和子 ・ 理事 須藤國男
- ② 北海道同窓会 会長 宮崎新吾・副会長 沖野茂夫・副会長 中根恵美子
- ③ 青森同窓会 会長 関川宏明・副会長 田澤豊・幹事 伊藤邦子・幹事 川口勇二
- ④ 宮城野会 副会長 佐藤摩利子・副会長 齊藤けさよ・理事 佐々木文枝
- ⑤ 山形同窓会 代表 柳澤 卓・副代表 遠藤凱雄・副代表 武田佳世子
会計幹事 佐藤ちる子
- ⑥ 福島同窓会 会長 齊藤栄一
- ⑦ 秋田同窓会 会長 田口陽一・副会長 高橋晴子・副会長 関山尚三
幹事長 長谷川榮一 ほか

○ 10月15日 第一部

- ・ はじめに、田口秋田県同窓会会長並びに津田同窓会連合会会長から開会の挨拶があり、続いて、井上秋田学習センター所長より来賓挨拶がありました。
- ・ 次に、放送大学秋田学習センター所長・秋田大学名誉教授 井上浩先生より 記念講演「教養としての電磁環境を考える」について講演がありました。前半は、秋田県及び秋田学習センターについてのお話があり、秋田学習センターの最近の取り組みとして、アクションプランを策定しており、1) 学生支援の充実、2) センター内情報を広く伝える方策を充実させる、3) 学生の意欲を向上させる方策を充実させる、4) 学生募集への新しい試みを企画、5) 運営をスムーズにするために、教職員の能力を向上させる←学生向けにやっていなかったことでできることはやってみる、といった取り組みについて講演され、示唆に富んだお話を聞くことができました。後半は、「社会を支える暮らしの中の電磁環境」として、電気の成り立ちから、電気の利用と電磁気発生が密接にかかわっており、特に自動車においては、スパークプラグなど電磁気発生が不可避なものを使いながら、他方で電磁気を影響を絶対受けてはいけない電子回路を使う技術について講演していただきました。その中では、実際に最先端のハイブリッド車を分解して、その構造を学ぶ映像など見ながら講演していただきました。



○10月15日 第二部

- ・ 30分ほどの休憩を挟んで、第二部の情報交換会が実施されました。
- ・ 田口秋田県同窓会会長から挨拶があり、その後各同窓会から報告がありました。
- ・ 北海道同窓会からは、活動報告として、研究発表会、同窓会会報の発行、卒業を祝う会、ひとこと集の発行を、それぞれ年2回行っていることを発表しました。また、課題としては、同窓会として活動が活発なのはありがたいことですが、その一方で役員が入れ替わった際に同じクオリティが維持できない可能性があることについて発表しました。
- ・ 次に、青森県同窓会から年間活動報告があり、特に新たにホームページが開設されたことについて発表がありました。
- ・ 以下、各同窓会から活動報告があり、宮城野会、山形同窓会、福島同窓会からそれぞれ発表あり、今回初めて同窓会が発足した福島県同窓会の齊藤同窓会長からは、同窓会会報の発行、同窓会会員の拡大、地域社会貢献活動及び講演会と会員等の交流など、発足間もない同窓会とは思えない充実した活動報告がありました。
- ・ 同窓会連合会から、全国で同窓会が設立されていない学習センターとして、依然として「岩手」があり、「岩手」は学友会と同窓会の両方が必要であるか疑問に感じていることが、同窓会設立を難しくしている原因の一つとなっていることなどの報告がありました。
- ・ 各同窓会から盛んに質問などが飛び交い、大変活況のうち終了時刻となりました。



○ 10月15日 懇親会

- ・ 会場を「ルポールみずほ」に移し、公開講演会をしてくださった井上先生をはじめ、他の同窓会メンバーなど、第一部・第二部に出席したメンバーのほとんどが参加して、会議の中では話さきれなかったことについて、大いに語り合うことができました。

○ 10月16日 情報交換会

- ・ 昨日の第二部に引き続き情報交換会と討議を行いました。
- ・ 主な討議内容として、1) 放送大学への提言と学生支援、2) 各同窓会の抱える問題、3) 連合会本部に対する意見と要望などについて各同窓会から意見が交わされた。北海道同窓会が昨日の第二部で発表した、役員が入れ替わった際の問題点については、秋田同窓会から、人材育成はどうしても時間がかかるので、ゆっくりと「おだてながら」育成していくのが大切であるから、新しい人を早めに見つけゆっくりと育てるのが良いのではないかと意見をいただくことができました。その後青森、宮城、福島、山形、秋田と情報や問題点などを発表しました。そして、各同窓会が抱える問題は大学事務との関係以外は共通している事を確認しました。続いて各同窓会側か連

合会への質疑応答形式となり、山形同窓会長→連合会へ「大事な要件は紙ベースで連絡を頂きたい」連合会須藤理事 「全国すべての同窓会とはメールで通信しているので、その努力をしてほしい」

・秋田同窓会→連合会 「今回のブロック交流会幹事同窓会である秋田同窓会に対し、重要事項(二日目の交流会の内容についての指示や参加者旅費についての規制の決定事項)をメール1つで連絡しましたで、終わるのは如何なものか。幹事同窓会としては当初の計画を大幅に変更した。また、旅費の規定変更も旅費を支払った後からの指示で納得いかない」



連合会須藤理事 「二日目の交流会内容はどうでしょうか?との提案をただけで、こうしなさいとの強制ではありません。参加者交通費についてはずいぶん前から決まっていたが連絡が遅くなって申し訳ない」

秋田同窓会 「我々は連合会から言われるとそうしなければならないと思ってしまう」

連合会須藤理事 「連合会は同窓会の上部組織ではない。各地の同窓会のコネクションの役割をしている。きちんと認識してほしい」

会場の同窓会から 「助成金をもらったりしているので、なんとなく上部組織のように思ってしまう。今回のような内容変更などは幹事同窓会会長に電話連絡が必要」

秋田同窓会 「各地の同窓会は連合会の誰がどんな役割分担になっているのか良く解っていない。幹事同窓会は担当理事が誰なのか確認しておく必要がある」

津野連合会会長 「総会の時に理事の役割分担等については報告している。担当役員は早期に幹事同窓会に連絡すべきであると思っている。旅費の件については本当に申し訳なかった」

連合会の事情や幹事同窓会の事情によって情報が未達になるのは困るので、各同窓会に会長以外の事務局責任者を置き、連合会は同窓会長あてメールにCCで事務担当者にも送信する。パソコンの苦手な同窓会長は事務担当責任者からプリントアウトしてもらう方法をとればよい。との結論に達しました。また、秋田同窓会は東北北海道ブロックの連絡網を作ろうそれには秋田同窓会が尽力するとのことで会場はそれに賛同しました。

次回の山形同窓会は開催日程を9月第1土日に設定し役員会などの準備にとり掛かっているとのことでありました。

来年の山形開催に再会を誓って二日間の東北・北海道ブロック交流会は解散しました。

以上

記憶に残る一冊

「恐ろしい美が生まれている」 アイルランドの独立運動と殉教者達

著者 U.オコナー / 訳者 波多野裕造 / 青土社

北海道同窓会副会長 沖野茂夫

この本の初版には A terrible beautiful was born 「恐ろしい美が生まれている」との題名が付されたが、3版から原題を The Troubles 「紛争」、副題を「1912 から 1922 年のアイルランドの自由獲得闘争におけるマイケル・コリンズと義勇兵」としている。初版の原題はウィリアム・バトラー・イエイツの詩編「1916 年の復活祭」の冒頭のスタンザから引用され、日本語版にはこの題名が残されている。

3版の副題が示すとおり、作者ユーリック・オコナーはアイルランドが英国からの独立を果たすまでの10年間の闘いを、1,500人の義勇兵が参加し英国軍の軍事力の前に無残にも蹴散らされた「1916年の復活祭の蜂起」を中心に据えて著述している。この蜂起の主導者16人は謂われ無き裁判で死刑を宣告され、数日後直ちに銃殺される。イエイツは屈強な革命者であり熱烈な愛国者でありそして詩人だった彼らを、殉教者として悼んでこの詩編に照射した。それ故にオコナーによって、この本の題名として引用された。

訳者であり駐アイルランド大使であった波多野裕造氏はこの本の性格を「小国の人たちが、ナショナリズムという自分の内なる衝動に突き動かされて、如何に行動したのかを実証的に示した物語である」とあとがきに残している。つまり実証的であるが、史実との対照に厳密さを欠いているとの見方を率直に吐露している。しかし力感あふれる文体にはアイルランドのナショナリズムが横溢していて、自分達は破滅に向かって進んでいると自覚しながらも武器をとった主導者たちの切々たる心情が満ちている。

アイルランドの史学界には、文芸復興運動つまりアイルランド語の復興や古のスポーツの復活そして昔に語られていた民話などの発掘と出版等が、独立運動と結びついたとの通説がある。オコナーもその説を踏襲している。しかし従前からこの説に対して、蜂起という極めて暴力的で政治的な行動と文芸復興運動という位相を異にする事象が置換されるはずがないと考えていた。

しかしこの本が帯刀する情念に駆り立てられてアイルランド近代史に沈溺するにつれて、この二つの事象に底通するものがあると感じ始めた。ひとことで言えばそれは「ケルトの復権」と呼べるものではないか。そしてこれを題材に論文にまとめられないかと考えるようになった。結果として、清田図書館で何気なく手にしたこの本が「文芸復興運動が復活祭の蜂起に与えた影響」を修士論文のテーマとする研究に向かわせることになった。

源氏物語を学ぶ会

放送大学の放送授業『清少納言と紫式部 王朝女流文学の世界』（鈴木日出夫著）を学習された方は多数いらっしゃると思います。

学ぶ会は、放送終了後の平成17年4月に、自主学習を始めました。初代会長の関口の熱意により、伊藤教授（鈴木氏の愛弟子）を講師に迎え、講読会も来年で満10年を迎えます。



伊藤教授は、万葉集をはじめとする和歌がご専門で、源氏物語を引き歌の世界から解説くださり、心の機微に触れていくのです。現在は『玉鬘』の帖を講読しています。

発足当時、「100回記念に、ゆかりの地に旅行へ！」は、学習の励みでした。

そんな合い言葉の中、平成20年に京都で『源氏物語千年紀』が行なわれ、「ゆかりの地を巡る旅」に出かけるようになりました。

第1回

京都御所、清凉寺、宇治平等院
清水寺、石山寺など（3泊4日）

第2回

須磨寺、現光寺（明石）
御室仁和寺など（3泊4日）

第3回

伊勢神宮、斎宮博物館、
徳川美術館など（2泊3日）



ただ今、源氏物語54帖読破にむけ

会員募集中！！

※現在、男性5名、女性7名。

源氏物語を学ぶ会

代表 阿部 博美

TEL：011-824-8028

（FAX・留守電 有）

＝途中入会に不安な方へ＝

『あさきゆめみし』大和和紀著（全13巻）マンガですが原文に忠実で予習ができます。漫画により物語の全体像が掴めます。一度、見学にいらしてください

会費納入と新入会員募集のお知らせ

2015 年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振り込みくださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）また、70 歳以上の方は、1 万円で終身会員となります。

ゆうちょ口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『口コミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター
TEL 011-736-6318

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

（宛先） 〒060-0817

札幌市北区北 17 条西 8 丁目 北海道大学構内
放送大学北海道学習センター気付

放送大学北海道同窓会

学習センター事務室内ポストに直接投函可

FAX・Tel 兼用：011-642-2389 中根

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

2016年9月卒業生

（自）鈴木 克昌 （心）松田 鉄雄

（生）加藤 誠

（2015年9月30日現在） 以上 3名

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

会報第 28 号のお詫びと訂正します

① 5 頁下から 16 行目以下の文

削除：3 月 11 日滋賀放送大学正門前から
70 キロマラソンした。

加入：今年 3 月 11 日 4 年前に事故にあった
君津市から放送大学本部の正門前を目指
し、70 キロマラソンを再スタートし完走し
た。

② 5 頁下から 15 行目 「自然と環境」→4 年
前「自然と環境」

③ 5 頁下から 14 行目 3 月に→平成 24 年 3

編集後記

ノーベル医学生理学賞を東京工業大学栄誉教授の大隅良典さんの受賞が決まり、直後のインタビューで基礎研究の重要性とともに研究環境の危機に言及されていました。昨今、学問の世界でも成果主義という言葉がしきりに取りださされています。しかし基礎研究を成果主義の観点で評価すると貢献度は零です。成果とは研究行動が効果や利益に結びついたときに初めて、評価の対象とされるからです。大隅教授の研究が成果となるには、教え子やその次の教え子の時代まで待たなくてはならないでしょう。また別のインタビューのなかで研究を始めた動機について「利益とか貢献とかを念頭に置いていたのではなく、ただの好奇心から未知の分野に飛び込んだ」旨の発言をされています。まさに「好きこそ物の上手なれ」の実践です。この言葉は、研究に携わるすべての人間を励ます応援歌のように聞こえました。

（編集委員長 沖野茂夫）